



## 2/12 鶴学園創立記念日(2/23)について学習

2月23日は、天皇誕生日の祝日ですが、鶴学園のお誕生日、つまり創立記念日でもあります。

これまでは、低学年・中学年・高学年ごとに、鶴学園の歴史や、建学の精神、教育方針について校長がお話する機会を設けていました。現在、コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために広島県では、集中対策期間になっており、今年は、あらかじめ動画録画していた内容を各教室で学ぶことにしました。



正門を入ったところにある石碑は学園創立50周年記念碑として2006年2月に設置されたものです。開校から3年後のことです。

また、来校者玄関入り口右手の壁面には、教育方針「常に神と共に歩み社会に奉仕する」との教育方針が掲げられ

ています。この教育方針は初代鶴 虎太郎総長先生が、現在の広島工業大学高等学



校の第1回目の卒業式の式辞の中で話された言葉を2代目の鶴 襄 総長先生が、教育方針とされたものです。

卒業式では、「あなたたちは、これから喜びも楽しみもあり、時には悲しみ苦しみもあるでしょう。常に神に祈りつつ、感謝の気持ちで過ごし、神と共に歩み、よい社会を創るために奉仕していく精神で頑張ってください。」と話されたのです。その心は、今も引き継がれ、なぎさ公園小学校では、ボランティア委員会をはじめ、保護者の皆さんと一緒に3・11プロジェクトで東北の学校を支援する活動を続けていたり、広島なぎさ中学校の生徒と一緒に地域清掃活動を行ったりしています。

各教室に掲示してある「なぎさっ子の4つの柱」には、「人の役にたち、人に喜ばれる行いを進んで実践する子どもです」と示してあります。おりしも、この寒さ厳しい時期に、生活委員会の子どもたちは、毎朝あいさつ運動に正門に立ち、みんなを笑顔と元気なあいさつで迎えてくれています。

初めて学習した1年生ですが、「奉仕する」ということを自分なりに考えて何ができるか書きました。



## しいたけ

なぎさではシイタケを1年生の終わり頃、桐木に菌を打ち込み、1年寝かせます。2年生は、前年度の1年生が打ち込んだシイタケを収穫します。今年は、なぜか寒いこの時期にもたくさんできてびっくり!!

## 2月の生活目標

- ・あいさつをしよう
- ・生活のリズムをととのえよう

## 2/13 けん玉・なわとびグランプリ

例年、なぎさっ子が楽しみにしている行事ですが、今年は、動画を各教室に配信して参加者の技を見て全校で応援することができました。

けん玉グランプリは、講堂で、なわとびグランプリは中央棟のウッドデッキで行われました。成功した時には歓声と大きな拍手が、失敗しても頑張りを惜しむようなため息と励ましの拍手がわき、教室でも大盛り上がりでした。結果は後日表彰すること。これまでの努力や練習への意気込み、本番での集中力など、全員、得難い経験をしたなぎさっ子たちです。けん玉、なわとびが大好きな子がますます増えるでしょう。



みんなが集まって行う行事が例年通りにできなくて残念に思っていましたが、動画で互いの頑張りを見合うことができて、これも素敵な取り組みだと感じました。なぎさっ子と先生たちの頑張りに感謝です。

参観日も中止になりましたが作品展示の様子を Goole classroom でお届けします。なぎさっ子の1年間の成長をお感じいただければうれしく思います。